

VMware Workspace ONE のエディションの比較

VMware Workspace ONE® は、VMware AirWatch® テクノロジーを搭載したインテリジェンス ベースのデジタルワークスペース プラットフォームです。アクセス制御、アプリケーション管理、マルチプラットフォーム エンドポイント管理が統合された Workspace ONE では、デバイスの種類を問わず、あらゆるアプリケーションをシンプルかつセキュアに提供、管理できます。すべてのエディションはクラウド サービスとしてご利用いただけます。Workspace ONE Standard、Advanced、Enterprise、Enterprise for VDI など、一部のエディションのみオンプレミス環境への展開も可能です。VMware Workspace ONE MDM Essentials™ と VMware Workspace ONE Modern Management Essentials™ は、クラウド サービスまたは SaaS としてのみ利用できます。Workspace ONE Modern Management Essentials と VMware Workspace ONE Assist™ の機能を組み合わせた VMware Remote Work Essentials™ は、クラウド /SaaS バンドルとしてのみ利用できます。

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
統合エンドポイント管理							
モバイルデバイス管理	iOS、Android、macOS、Windows 10、Chrome OS、Linuxなどを搭載したスマートフォン、タブレット、ラップトップデバイスのモバイルデバイス管理（MDM）ポリシー、設定、デバイス構成の設定	○	○	○	○	○	
共有デバイスの基本的な管理	Android のシングル / マルチアプリケーションのキオスク モードや、iOS/iPadOS のマルチユーザー モードなど、ネイティブの MDM API を活用して、モバイル デバイスの共有およびキオスク構成を管理	○	○	○	○	○	
Android OEM の拡張機能	OEMConfig のサポート：Android Enterprise でネイティブに利用可能な Samsung Knox や Zebra Managed Configurations などの上に、OEM 固有のデバイス管理 API を追加	○	○	○	○	○	

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
統合エンドポイント管理							
現場スタッフ向けデバイスおよび専用デバイスの管理	現場スタッフ向けの高度なモバイル デバイス、耐久性デバイス、周辺機器（プリンターなど）を管理。VMware Workspace ONE Launcher™ を利用した高度な共有およびキオスク構成のサポート、バーコードによる加入（Zebra StageNow と Honeywell Enterprise Provisioner など）、リレー サーバ、レガシーおよび専用の追加プラットフォームのサポート（Windows CE、Windows Mobile、QNX、Raspberry Pi、tvOS など）を含む	○	○	○	○		
ウェアラブルデバイスと周辺機器の管理	拡張現実 / 仮想現実 / 複合現実（AR/VR/MR）のスマート グラス およびヘッド マウント ディスプレイ（HMD）、プリンター、その他のアクセサリなど、ウェアラブル デバイスと周辺機器を管理	○	○	○	○		
最新のデスクトップ管理	API ベースの最新のデスクトップ管理（Windows 10、macOS、Chrome OS）を提供。すぐに利用可能なデバイス オンボーディング機能（OOBE、DEP）、MDM およびカスタムの（スクリプトによる）ポリシー構成、クラウド（Windows Update for Business）とオンプレミス（Windows Server Update Services/Software Update Services）の管理、統合アプリケーション カタログ環境、アプリケーション管理（ストア アプリケーション）、情報漏洩防止対策（DLP）の適用、暗号化（BitLocker、FileVault 2）、ネイティブのファイアウォールおよびアンチウイルス構成、資産とコンプライアンスのレポート機能を含む	○	○	○	○	○ ¹	○

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
統合エンドポイント管理							
高度なデスクトップ管理	Windows 10 と macOS を対象に、MDM API を通じて利用できる範囲を超えた高度なデスクトップ管理機能を提供。Baseline によるグループ ポリシー オブジェクト (GPO) 設定、Win32 アプリケーションのライフサイクル管理、ネイティブの物理環境間 (P2P) でのアプリケーションの配信、BitLocker のライフサイクル管理、コンプライアンス レポートのための Sensors、アプリケーション単位の VPN トンネリング、Windows 10 Enterprise のポリシーなどの機能		○	○	○		○
エンタープライズデスクトップ管理	Workspace ONE Intelligence と VMware Horizon® によるエンタープライズレベルのデスクトップ管理機能を提供。OS アップデートの自動化、CVE、Workspace ONE Trust Network、Sensors に基づいた脆弱性の修正、IT サービス管理 (ITSM) の統合、ワークフロー、仮想アプリケーション、デスクトップの提供などの機能			○	○		○ ²
IT コンプライアンス自動化エンジン	アプリケーションの許可リスト / 拒否リスト、GPS およびジオフェンス、OS のバージョン管理、コンプライアンス エスカレーションなど、自動化された修正ワークフロー対応の順守ポリシーを構築	○	○	○	○	○	○

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
統合エンドポイント管理							
Windows 10 向けの Workspace ONE AirLift	Microsoft System Center Configuration Management (SCCM) へのサーバー側コネクタを使用して、問題が多い従来の PC 管理タスクから Workspace ONE による最新の Windows 10 管理への移行を自動化。加入パッケージを開発、展開する機能と、デバイスコレクション、GPO、アプリケーションを Workspace ONE に移行する機能を含む	○	○	○	○	○	○
デフォルトのアプリケーションストレージ領域	デフォルトのアプリケーションストレージ領域を使用。ストレージは 25 GB 単位で追加購入可能	25 GB	50 GB	50 GB	50 GB	25 GB	50 GB
Workspace ONE Assist for Remote Management	プライバシーに配慮した高度なリモート管理および制御ツールを使用して、タスクワーカーとナレッジワーカーのデバイス（デスクトップ PC を含む）をリモートからサポートおよびトラブルシューティング可能。Android、iOS、Windows Mobile、Windows 10、macOS を搭載したデバイスをサポート	アドオン	アドオン	アドオン	アドオン	アドオン	アドオン
テレコム管理ツール	データ、通話、メッセージの利用状況を追跡し、アクションとコンプライアンスを自動化		○	○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
アクセス管理							
アプリケーションカタログ	任意のデバイス上の単一のアプリケーションから、企業のすべてのアプリケーションにアクセス可能	○	○	○	○	○	○
ID ブローカー	Active Directory、Azure Active Directory、LDAP、Okta、Ping を含む、サードパーティの ID ストアおよび ID プロバイダーと連携	○	○	○	○		○
フェデレーションシングルサインオン (SSO)	フェデレーション標準の1つを使用して、サードパーティ アプリケーションまたは自社開発アプリケーションと Active Directory を連携。SSO 用のパスワード フォーム入力機能も含む	○	○	○	○		○
モバイル SSO ³	証明書ベースの SSO を使用して、iOS および Android のアプリケーションをシームレスに起動、認証。Android の場合、SSO には Workspace ONE Tunnel が必要 * デバイス単位のライセンスの場合は機能的に制限あり	○	○	○	○		
条件に基づいたアクセス制御 ³	ユーザー認証の強度、デバイス プラットフォーム、ネットワーク範囲、アプリケーションに基づいたアプリケーションへのアクセスを制限するアプリケーション アクセス制御ポリシーを使用可能 * デバイス単位のライセンスの場合は機能的に制限あり	○	○	○	○		○
ID プロバイダー (IDP) ³	ユーザー アカウントの ID データベースとして機能 * デバイス単位のライセンスの場合は機能的に制限あり	○	○	○	○		○
モバイル E メール管理 ³	E メール インフラストラクチャと連携して、ActiveSync クライアントのアクセスを制御。Office 365、G Suite、Exchange のサポートを含む	○	○	○	○		○

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
アクセス管理							
多要素認証 (MFA) ³	Workspace ONE Verify MFA、または RSA や Duo などのサードパーティ製の MFA を使用して、アプリケーションに安全にアクセス可能 * デバイス単位のライセンスの場合は機能的に制限あり	○	○	○	○		○
セキュア E メール ゲートウェイ (SEG)	データと添付ファイルを暗号化するため、ワーク E メール サーバへのアクセス制御を提供	○ ⁴	○	○	○		○
Workspace ONE Intelligence との連携による、リスクベースの条件に基づいたアクセス	条件に基づいたアクセス制御に、Workspace ONE Intelligence のリスク スコアを使用			○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
インテリジェンスと自動化 ⁵							
レポート	Workspace ONE UEM のレポート機能を使用	○	○	○	○	○	○
カスタムレポート	Workspace ONE Intelligence のデバイス、アプリケーション、ユーザーに関するデータに基づいたカスタム レポートを作成	○	○	○	○		○
カスタマイズ可能な履歴情報に基づくダッシュボード	スピーディで大規模環境にも対応する高度な可視化機能により、デジタルワークスペース全体を可視化			○	○		○ ²
アプリケーションの分析	従業員向けに開発されたアプリケーション全体について、導入状況と使用状況を測定			○	○		○ ²
意思決定エンジンを活用した自動化	コンテキストとパラメーターに基づいてアクションを実行したり通知を提供したりするルールを定義して、プロセスを自動化			○	○		○ ²
従業員の作業環境のデジタル管理	従業員のデジタル エクスペリエンスの管理により、ユーザーの使用環境に関するインサイトを確認し、従業員に提供される価値を測定			○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
インテリジェンスと自動化 ⁵							
リスク分析	リスク分析機能と、デバイスの状態や状況などとユーザーの行動から算出されたリスクスコアを使用して、機械学習に基づく継続的な検証を実施			○	○		
Workspace ONE Trust Network	Workspace ONE の提供するインサイトと、Endpoint Detection and Response (EDR) ソリューション、アンチウイルス/アンチマルウェア ソリューション、Mobile Threat Defense (MTD) ソリューション、Cloud Access Security Broker (CASB) など、連携するセキュリティ パートナー ソリューションを組み合わせることで、デジタルワークスペースに自動化された予測型のセキュリティ 機能を提供 ⁶			○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
アプリケーションとデータの保護							
モバイル アプリケーション管理	アプリケーション（社内、パブリック、Web、ネイティブ アプリケーションなど）のインストール、インベントリ追跡、構成を行い、ユーザーやデバイスへの割り当てを実行	○	○	○	○	○	
Workspace ONE Boxer	強化されたセキュリティ機能と生産性向上機能を備えた、コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションとして、従業員に E メール、カレンダー、連絡先、ファイルのオールインワン エクスペリエンスを提供		○	○	○		
Workspace ONE Notebook™	コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを通じて、従業員によるメモやタスクの管理と作成を支援。Workspace ONE Notebook は Exchange とシームレスに連携するため、ユーザーは思考やアイデア、会議のメモ、画像、手書きなどをキャプチャ、整理、共有可能			○	○		
Workspace ONE Smartfolio™	コンプライアンスとワークフローの要件を満たしながら、コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを通じて、カスタマイズされたマネージド コンテンツを使いやすい形式で従業員に提供		○	○	○		
Workspace ONE Cards™	コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを使用して、従業員が名刺を迅速かつ安全にスキャンし、Exchange の連絡先に変換することが可能		○	○	○		
Workspace ONE Web	コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを介して、従業員がイントラネット サイトおよび Web アプリケーションにスムーズにアクセスできるようにする。キオスク（単一アプリケーション）モードにデバイスを設定する機能を搭載		○	○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
アプリケーションとデータの保護							
Workspace ONE Content	コンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを介して、従業員がオンプレミスおよびクラウドベースのファイル リポジトリ全体でファイルの統合、表示、マークアップが可能。モバイル コンテンツ管理、ファイル編集、注釈機能が含まれるとともに、切り取り、コピー、貼り付け、「プログラムから開く」の機能制限によってデータの損失を防止		○	○	○		
Workspace ONE Send	Microsoft Intune で保護された Word、Excel、PowerPoint の添付ファイルを、Office 365 のアプリケーションと Workspace ONE の業務アプリケーション間でセキュアに送受信可能		○	○	○		
Workspace ONE Tunnel	アプリケーション単位の VPN のクライアント アプリケーションを使用して、アプリケーション (VMware またはサードパーティ) を企業のイントラネット サービスに接続。サーバ側に、VMware Unified Access Gateway などのアプリケーション単位の VPN インフラストラクチャが必要		○	○	○		○
Workspace ONE PIV-D Manager	主要な派生認証ソリューション プロバイダーと連携するコンテナ化されたセキュアなモバイル アプリケーションを介して、派生資格情報のクライアント証明書を通じた 2 要素認証を実現		○	○	○		
DLP 保護を備えた Workspace ONE SDK	モバイル アプリケーションを Workspace ONE と安全に統合。アプリケーションのコンテナ化、セキュリティと DLP、SSO、ネットワークトンネリング、分析、プライバシー、コンテンツなど、SDK のすべてのモジュール コンポーネントが含まれる	○	○	○	○	○	
アプリケーションラッピング	開発済みのアプリケーションにセキュリティ ポリシーと管理機能を追加		○	○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
デジタルワークスペース							
Workspace ONE Intelligent Hub	クロスプラットフォームに対応するデジタルワークスペース アプリケーションを使用することで、アプリケーションや会社のリソースへの安全なアクセス、同僚とのつながりの維持、場所やデバイスを問わない生産性の確保を実現。以下のハブ サービスを構成することで、従業員に合わせてカスタマイズ可能	○	○	○	○	○	○
カタログ	カタログ向けの Hub サービスにより、構成済みのネイティブ、モバイル、SaaS、仮想アプリケーションの表示、インストール、そして SSO でのアクセスを実現。カタログ内のアプリケーションは、推奨や種類による分類によって整理可能	○	○	○	○	○ ⁷	○
People	People ハブ サービスでは、従業員が同僚の検索、組織図の表示、連絡先カードの表示と電話の発信および Eメールの作成、チームの概要の確認が可能	○	○	○	○		○
Notifications	Notifications ハブ サービスを通して、すべての従業員との一体感の醸成やコミュニケーションが可能。通知内容の作成ビルダーを使用して、Workspace ONE Intelligent Hub アプリケーションに提供される情報やアクション可能な通知の作成とプレビューが可能。Workspace ONE mobile flows サービスを使用しているお客様は、Notifications をサードパーティのビジネス システムに連携させることが可能	○	○	○	○	○ ⁸	○
サポート	Workspace ONE Intelligent Hub のカスタマイズ可能な機能の一部として、よくある質問やナレッジベースの記事などにオンデマンドでアクセスできるセルフサービス機能を従業員に提供	○	○	○	○	○	○

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
デジタルワークスペース							
ブランディング	デジタルワークスペース環境をカスタマイズして、組織のブランドを反映	○	○	○	○	○	○
AVA	Workspace ONE Intelligent Hub アプリケーションに Automated Virtual Assistant (AVA) を追加することで、従業員によるセルフサービスでの疑問解決やトラブルシューティングなどを支援。AVA と Workspace ONE mobile flows サービスを連携させることで、例えば ITSM システムでチケットをオープンするなど、サードパーティのビジネス システム上でのガイド付きアクションをサポート可能。IBM Watson 環境が必要	○	○	○	○		○
Custom タブ	企業の Web ポータルやイントラネット サイトなどの Web サイトを Workspace ONE Intelligent Hub のナビゲーション バーに固定	○	○	○	○	○	○
Mobile Flows	コンテキストベースのアクションと通知により、Workspace ONE Intelligent Hub または Workspace ONE Boxer のアプリケーション内で、さまざまなバックエンドエンド ビジネス システムのタスクを完了できる			○	○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
仮想アプリケーションと仮想デスクトップ							
仮想アプリケーション (Horizon Apps ユニバーサルライセンス)	オンプレミス、クラウド、ハイブリッド クラウド、またはマルチクラウド環境の仮想アプリケーションを単一のプラットフォームからエンドユーザーに容易に配布、管理できる			○	○		
仮想アプリケーションと仮想デスクトップ (Horizon ユニバーサルライセンス)	オンプレミス、クラウド、ハイブリッド クラウド、またはマルチクラウド環境の仮想アプリケーションとデスクトップを単一のプラットフォームからエンドユーザーに容易に配布、管理できる				○		

		Standard Edition	Advanced Edition	Enterprise Edition	Enterprise for VDI Edition	MDM Essentials	Modern Management Essentials
ライセンス							
ライセンス付与されたデバイスの台数	管理下のデバイスまたは SDK アプリケーションによる管理下のデバイスの最大数	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5	デバイス単位のライセンス：1 ユーザー単位のライセンス：5
Workspace ONE ポータルへのアクセス	ブラウザーを介して Workspace ONE ポータルにアクセス可能な管理外デバイスの最大数	ユーザー単位のライセンス：無制限	ユーザー単位のライセンス：無制限	ユーザー単位のライセンス：無制限	ユーザー単位のライセンス：無制限	ユーザー単位のライセンス：無制限	ユーザー単位のライセンス：無制限

- Workspace ONE MDM Essentials は、タブレット / キオスクのユースケース（S モード /RTM/IoT など）では、限られた範囲の最新のデスクトップ管理プロファイルのみをサポートします。エージェントベースの高度な PC 管理機能は含まれません。
- Workspace ONE Modern Management Essentials には、Workspace ONE Intelligence の PC 管理自動化の一部の機能が含まれています（パッチ適用と CVE の自動化、Sensors によるコンプライアンスの確保など）。Workspace ONE Modern Management Essentials には、Horizon Apps/VDI と Workspace ONE Intelligence のフル機能は含まれていません（リスク分析、従業員の作業環境のデジタル管理、Workspace ONE Trust Network など）。
- Workspace ONE のデバイス単位のライセンス モデルの場合、SSO、MFA、アクセス制御テクノロジーは、管理対象デバイス上で、管理対象アプリケーションからのみ機能します。Workspace ONE UEM（AirWatch）で管理していないデバイスからエンタープライズ アプリケーションへのアクセスを有効にする場合や、任意の Web ブラウザーからエンタープライズ アプリケーションへのアクセスを許可する場合は、Workspace ONE をユーザー単位のライセンス モデルで利用する必要があります。
- Workspace ONE Standard に含まれる SEG は、ネイティブのメール クライアントに制限されます。
- SaaS/ クラウド環境に限られます。Workspace ONE Enterprise の無期限オンプレミス ライセンスでは利用できません。
- Workspace ONE UEM は、独立系ソフトウェア ベンダー（ISV）がアプリケーションを開発する際に利用したオープン API を使用する、レガシーの MTD の統合をサポートします。UEM を含むすべてのエディションで実現可能であり、Workspace ONE Trust Network は必要ありません。
- SaaS および仮想アプリケーションへの SSO には Workspace ONE Access が必要です。これは Workspace ONE MDM Essentials には含まれていません。
- UEM 通知に限られます。mobile flows を使用したサードパーティおよびアクション可能な通知には Workspace ONE Access が必要です。これは Workspace ONE MDM Essentials には含まれていません。

詳細については、<https://vmware.com/jp/products/workspace-one> を参照してください。